

キャンプファイヤー

非日常生活を共に過ごした仲間たちと火を囲み歌ったり、踊ったり、静かに語り合うことで友情が深まります。火は人の心を魅了し、素直な気持ちにさせ、時には気持ちを高揚させるでしょう。

持ちもの	軍手・新聞紙・着火用ライター(予備を含め2つ)・トーチ棒(必要に応じて) 革手袋(必要に応じて)・その他(音響設備など) ◇ 火の玉落としとして点火を行う場合は、あわせて「古タオル」「スズランテープ」「ペンチ」「ハサミ」をお持ちください。 (詳しくは「火の玉落とし」資料をお読みください)
事前準備	・ キャンプファイヤー場の確保 ・ キャンプファイヤーセットの注文(「薪・クラフト等申込書」を使用)

◇キャンプファイヤー場について


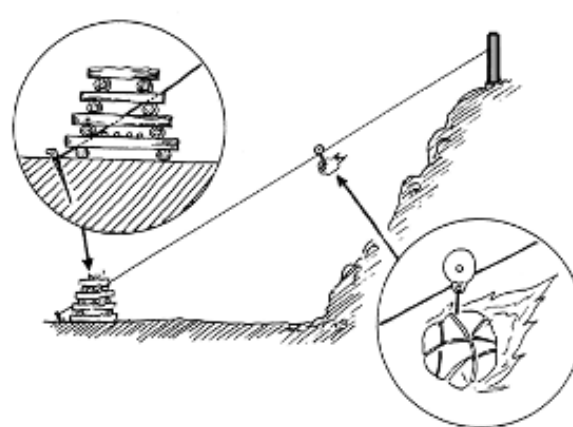
	収容人数	火の玉落とし	薪の保管場所	備考
第1ファイヤー場	約350人	○	第1薪倉庫	場内に電源あり
第2ファイヤー場	約250人	○	第2薪倉庫	場内に電源あり
第3ファイヤー場	約100人	×	第3薪倉庫	車いすでの使用可

◇「薪・クラフト等申込書」にて注文ができるもの

セット	実施時間の目安	オプション	セット内容
Aセット	45分~1時間	火の玉落とし	針金・滑車等
Bセット	1時間~1時間半	ファイヤートーチ	レンタルトーチ

※料金、詳しい内容は「薪・クラフト等申込書」を参照

◇点火方法

<p>トーチ棒(松明)での点火</p> <p>火のついたトーチ棒で薪組みに点火する確実な方法です。点火前に少量灯油をしみこませておきます。レンタルトーチの申込も可能です。</p>  <p>[持参トーチ棒の作成に必要なもの] ◆針金 ◆ペンチ ◆布 ◆棒</p>	<p>火の玉落としでの点火</p> <p>高い場所から張った針金を伝って、火の玉を落下させ点火する方法です。設営には薪組と合わせて1時間程度かかります。</p> 
---	---

キャンプファイヤー実施当日の流れ

薪組みから片付けまでの流れを説明します。必要な人員を配置できるように計画してください。

① 薪組みを行う時間の打合せ

入村手続きの際に、薪組みを行う時間を決めます。必要な時間は 30 分程度です。

(火の玉落としを行う場合は 1 時間程度)

開始時刻	4 月～10 月	～16：00
	11 月～3 月	～15：00

② 薪組み

薪組みには 2～3 名が必要です。

愛川ふれあいの村のスタッフが一緒に薪組みを行い、注意点、片付けの方法などをご説明します。



- ・ 新聞紙・軍手をお持ちください。
- ・ 所定の薪倉庫から、団体名のタグを確認して、薪をファイヤー場へ運んでください。
- ・ キャンプファイヤーで使用する道具も持ってきておくと、準備がスムーズになります。
- ・ 音響機器を使う場合は、明るいうちに電源の場所を確認してください。
- ・ 雨の恐れがある場合は、ブルーシートをかけて薪が濡れないようにします。

③ キャンプファイヤーの実施

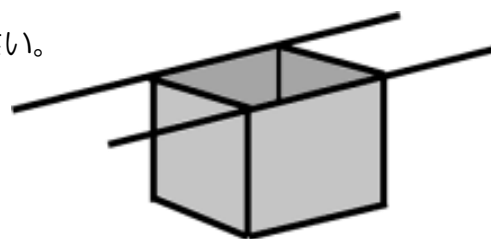
- ・ 開始 30 分前をめやすに、管理棟事務室で灯油を受け取り、薪組みにかけてください。

※キャンプファイヤーを中止した場合も、灯油をかけると費用が発生します。
必ず、実施の決定をした後に灯油をかけるようにしてください。

- ・ 雨でも団体の判断で実施することは可能ですが、無理はしないでください。
また、強風の場合、火災防止の観点から、中止をお願いする場合があります。
(キャンドルファイヤーへの変更も可能です)
- ・ キャンプファイヤー終了後、燃え残りに防火筒をかぶせ、完全に燃やし切ります。
(水をかけての消火はしないでください)
- ・ 灯油のボトルなどの貸出物品を事務所にお返しください。

④ 後片付け（翌朝）

- ・ 防火筒を元の場所に戻し、掃除、灰の処理をしてください。
(片付けの方法は、薪組みの際にお伝えします)



防火筒

キャンプファイヤーを成功させるために

なぜキャンプファイヤーをするのか考え、目的に添った内容を組み立てます。
実施内容や活動の流れ、ルールを事前に指導しておくことも大切です。

スタンツ(出し物)について

- ・ スタンツはゲームやダンス、歌、寸劇などがありますが、全員が楽しめるものを準備しましょう。
- ・ 1人だけが目立つのではなく、全員が参加できるものにしましょう。
- ・ 簡潔にテンポよく進めましょう。

ルールの一例

- ・ 実施中はライトをつけないようにしましょう。
- ・ 雑談や私語は慎みましょう。
- ・ 人の話をしっかり聞きましょう。

進行の注意点

- ・ ゲームのルール説明などは簡潔に。長い説明は飽きられてしまいます。
- ・ 指導をする際、キャンプファイヤーの火を背に立つと、影になり顔が見えません。顔に光が当たる位置に立つようにしましょう。
- ・ 「静かに！」など言葉を使って喧噪を鎮めると盛り上がり冷めてしまう場合があります。拍手や特定の動きなど、静かにするタイミングを示すサインを事前に決めて、場を鎮める方法もあります。

◇役割分担

ファイヤーマスター (営火長)	キャンプの責任者が務めることが多く、点火や火の子(点火役)たちへの分火など儀式的な役割を果たします。
エールマスター (司会・進行役)	歌やゲームなどを使って、司会進行を行います。参加者を盛り上げることが大切です。目立つ色の服を着るといいでしょう。
ファイヤーキーパー	火の調節・薪の補充など、火の管理をします。火に最も近づくので燃えにくい素材の長袖・長ズボン・帽子・革手袋などを身につけるようにします。
その他	伴奏係や音響係、火の玉点火係など。事前にキャンプファイヤーの進め方について、十分に打合せをしておきましょう。

◇キャンプファイヤーQ&A

Q 点火はどのようにすればよいですか？

A どの場所に点火するか決めておき、新聞紙等で場所を示します。その場所にトーチで点火します。トーチがなければライターで直接点火しても構いませんが、必ず革手袋をするなどの対策をし、ヤケドには十分気をつけてください。薬品やニクロム線を使った点火はできません。

Q どのように進行すればよいですか？

A キャンプファイヤーの目的は何ですか？楽しむことが主眼であれば、ゲームやダンスを展開し、盛り上げ続けるのもよいでしょう。キャンプで体験したことを振り返るためには、替え歌なども組み合わせて、後半は徐々に静かになるように進行しましょう。

Q 雨でも実施できますか？

A 団体の判断で雨でも行えますが、無理はしないようにしましょう。また、強風の際は火災防止の観点から中止をお願いする場合があります。雨で中止する場合、薪組み後でも灯油をかけていなければ料金は生じません。
(雨が降りそうな時はブルーシートをかけ、薪が濡れないようにしてください)

火の玉落とし

第1・第2ファイヤー場で行える、キャンプファイヤーの点火方法のひとつです。
高い場所から張った針金を火の玉が滑走し、点火を盛り上げます。

持ちもの	古タオル・ペンチ・ハサミ
事前準備	・キャンプファイヤー場（第1・第2）の確保 ・火の玉落としセットの注文（「薪・クラフト等申込書」を使用）

火の玉の設置（愛川ふれあいの村スタッフがサポートします）

① 火の玉の作成

こぶし大(700g~1 kg)の石に古タオルを巻き、針金で固定して火の玉を作ります。



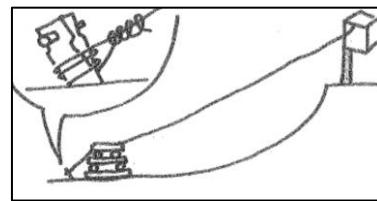
火の玉完成図

② 針金を張る

スタート地点にカラビナとスズランテープで火の玉を固定し、ゴールまで針金を伸ばします。

- ・針金がねじれたり、よれたりすると滑車がうまく進まず失敗の原因になります。
- ・通路を横切るところがありますので、監視役1名が必要です。

2~3人で引っ張り、針金をピンと張って金具に固定します。



針金の固定

キャンプファイヤーの点火

① 事前の準備

実施の15~30分前に、灯油を火の玉と薪組みの両方にかけてます。
滑車が針金にまっすぐ乗っているかを確認します。

② 点火

火の玉に火をつけると、スズランテープが焼き切れて、滑り始めます。

- ・念のためライターは2つ用意してください。
- ・スズランテープが焼き切れない場合は、ハサミで切ってください。
- ・点火の合図を事前に決めておきます。ファイヤー場と距離が離れているので、光や音の合図ではタイミングがずれてしまう可能性があります。

③ 針金の回収

薪に火がついたら、すみやかに針金をペンチで切ります。

- ・針金が飛び跳ねないように、火の玉付近の針金しっかりと掴み、金具付近を切ります。
- ・針金が足元に残っていると危険です。すぐに回収してください。

針金が熱で焼き切れると、思わぬ方向に針金が飛んでしまう可能性があり、大変危険です。火がついたらすぐに切ってください。

④ カラビナ・灯油ボトルの返却

キャンプファイヤー終了後、カラビナと灯油ボトルを事務所に返却してください。

- ・針金も事務所で回収します。

このアクティビティシートは、愛川ふれあいの村利用者に役立つ活動情報を提供するためのものです。目的外の使用、内容の改変、WEB等への転載を禁じます。